

これはパゾリーニの遺言状だ!

この世のものならぬ妖しさ美しさ…全世界にセンセーションを巻き起した衝撃の巨篇!

ピエル・パオロ・パゾリーニ ソドムの120日間

SALO O LE 120 GIORNATE DI SODOMA



ピエル・パオロ・ボナチエリ
ジョルジオ・カタルディ
ユベルトー・P・ウィンタバル
アルド・バレッツィ
〈カラー作品〉

Pier Paolo Pasolini
Pasolini

1922年生
1975年没

製作アルベルト・グリマルディ
監督・脚本ピエル・パオロ・パゾリーニ
原作マルキ・ド・サド(ソドムの120日誌)
音楽エンニオ・モリコーネ
(サントラック・キングレコード)
共同脚本セルジオ・チツティ

United Artists
Whitman-Stratton
ユナイテッド・アーティスト

SALO O LE 120 GIORNATE DI SODOMA

映画ファンにとって、これほどウレシクなる国もないのではないか。いまのところ、世界のどこでも見ることの不可能なパゾリーニの問題遺作「ソドムの市」を白昼堂々(?)、しかもロードショー劇場で鑑賞できる。本国イタリアでは早々に上映禁止。あのポルノ解禁国西ドイツさえ、ハンブルグ、シュツットガルトの一部都市で先行公開されたとはいえ、その後、カソリック団体などの猛反撃を受けて2転3転して遂に全面禁止の憂き目。わずかに昨年パリ映画祭に特別出品され、批評家間に轟々たる讃否の渦を巻き起したのがまだ記憶に新しいだけだ。では、これほどのセンセーションで世界の司法当局を眩惑し続けるパゾリーニのラスト・フィルムとはどんな作品なのか?

時はナチス崩壊直前の北イタリア1944年。ナチ政権のカイライともいえる4人のファシスト・グループが神をも恐れぬ一大狂宴を開始した。町という町、村という村から狩り集めた数百人の少年少女をいけにえに、性と暴力と狂気のアラベスク。ある者はムチ打たれ、ある者はホモ、レズを強制され、そして白ムクの処女を見舞うスカトロジーの世界。果てはサディスティックな殺人の狂宴まで、全編思わず目をそむけたくくなるような面妖怪奇なサド・マゾ世界のオンパレード。

ファシズム攻撃にはあまりにも凄惨な地獄絵巻である。あるいは自らの死を予期したパゾリーニ美学の集大成的アンソロジーなのか――。

いわずもがな、この作品を世紀の問題作たらしめているのは、作品内容とともに、世界の映画界に衝撃を与えたパゾリーニの死である。

1975年11月2日早朝、ローマ南方アスティア海

岸で見るも無惨なボロ布のような死体が中年夫婦により発見された。頭部をこん棒で打ち砕かれ、車に轢かれた跡もある初老の男の死体は、直ちにイタリア第一線の先鋭監督P・P・パゾリーニと確認された。ローマ警察は殺人容疑者として17才になる若いパン屋の見習いジュゼッペ・ペロージを逮捕した。その自供によると、パゾリーニが彼にホモ行為を強要し、彼が拒否したがためにくだんの結果を招いたという。しかし、この証言を100パーセント信ずるに足る確証はなく、一部には、その左翼的影響力を懸念する右翼保守勢力による謀略殺人ではないかという噂もいまだ消えては浮かんでいる。

自らの作品世界を象徴するような陰惨な死。あらゆる既成モラルに比類なき映像感覚で挑戦し続けたイタリア映画界最大の異端児のこれは壮烈な戦死か、性に耽溺しすぎた故のスキャンダラスな死か?

原作はマルキ・ド・サドの「ソドムの120日」。これをパゾリーニとセルジオ・チッティが共同脚色。音楽・撮影はパゾリーニの艶笑3部作で付き合ったエンニオ・モリコーネ、トニノ・デリ・コリがそれぞれ腕を競っている。出演者は殆ど無名だが、イタリアの実力派舞台俳優、そしてパゾリーニ自身が直接テストした数百人の美少年、美少女が異様なムードに観るものを引きずり込む。

“表現の自由”の後進国日本に突如上陸したパゾリーニの亡霊とそのラスト・メッセージ。上を下への大論争を捲き起して、今度は何処へ現われるか。



■キャスト■

公爵……………バオロ・ボナチェリ
 狩下……………ジョルジオ・カタルディ
 殿下……………ユベルト・P・クインタバル
 大統領……………アルド・パレットティ
 語り女たち……カテリーナ・ボラット
 “……………エルサ・ド・ジョルジ

ピエール・パオロ・パゾリーニ ソドムの市

■スタッフ■

製作……………アルベルト・グリマルディ
 監督……………ピエール・パオロ・パゾリーニ
 脚本……………ピエール・パオロ・パゾリーニ
 ………………セルジオ・チッティ
 原作〈ソドムの120日〉…マルキ・ド・サド
 音楽監督……………エンニオ・モリコーネ

9月25(土)日 衝撃のロードショー

池袋劇場 (971) 8361

特別ご鑑賞券 ¥ 1000 < 一般1300円 学生1100円 の処 > 絶賛発売中!

平日	11:40	2:10	4:40	7:10	
日・祝	10:20	12:35	2:50	5:05	7:20